

# 「ふくすいき

令和6年11月号

## ～福水企～通信



企業団キャラクター  
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課  
福岡市南区清水四丁目 3-1  
TEL 092-552-1731(代)

### ■ 企業団・構成団体の動き

#### ● 令和6年度日本水道協会全国会議（第105回総会・水道研究発表会）【参加しました】 【10/9（水）～11（金）神戸市】

10月9日（水）から3日間にわたり令和6年度日本水道協会全国会議が神戸市の「神戸国際展示場」及び「神戸国際会議場」で開催され、この期間中、当企業団から職員8人が参加しました。全国各地から多くの水道関係者が参集して、水道が抱える課題解決に向けた議論を展開するとともに、活発な情報交換が行われました。



会場の神戸国際展示場

総会では、長年水道事業に尽力した功労者等への表彰や、課題解決に取り組む水道事業体を表彰する「水道イノベーション賞」の令和6年度受賞事例の発表、会員から提出された問題の討議等がありました。

研究発表会では、全国の民間企業、水道事業体、学識者等から全11部門（事務、計画、水源・取水、浄水、導・送・配水、給水装置、機械・電気・計装、水質、リスク管理・災害対策、脱炭素化、英語）で477編の演題が提出され、業務の改善や研究の成果など最新の知見が披露されました。当企業団からは水質部門で1題発表しています。

また、2日目には「阪神・淡路大震災から能登半島地震～水道耐震化の歩みと今後の課題」と題する金沢大学名誉教授の宮島昌克氏の特別講演がありました。2つの地震と水道施設の被害の特徴のほか、今年の元日に発生した能登半島地震を教訓とした地震対策の方向性が示されるなどホットな話題に会場は真剣に聴き入っていました。

さらに、全国会議と並行して一般社団法人日本水道工業団体連合会主催の水道展も開催されており、出展企業のブースでは、最新技術を駆使した製品やシステム、サービス等が紹介されていました。プレゼンを聴きながら、業務のさらなる効率化や省力化のためにDX等を活用した新技術を導入することの必要性を感じました。



特別講演会場の様子

今回の全国会議等で得られた最新の知見を参考にして、安全で良質な水道用水の安定的な供給を支える業務に取り組んでいきたいと思っております。

<施設課 井ノ畑>

## ●令和6年度日本水道協会全国会議（第105回総会・水道研究発表会）【発表しました】

水道研究発表会では、当企業団の水質センターから石井が発表しました。

### 【題目】

非イオン界面活性剤の分析条件の検討

### 【概要】

非イオン界面活性剤は、洗剤の主成分で、発泡防止の観点から水質基準項目に定められています。当企業団では、低い濃度でも測定できる方法で検査していますが、分析精度に課題があり、再検査を要することが度々ありました。そこで、前処理の方法を検討した結果、分析精度が大幅に改善しました。現在は、再検査が減り省力化につながっています。



検査の様子

### 【発表を終えて】

非イオン界面活性剤の分析は他機関でも苦慮されていたようで、質疑応答は活発なものになりました。発表後も自治体の方や民間企業の方と情報交換ができ、有意義な研究発表になりました。今後も他機関との情報交換を行いながら、安全・安心な水を安定的に供給できるよう、検査法の改善に努めていきたいと思えます。

<水質センター 石井>

## ●水道技術ジャーナル（114号）への記事掲載【取材を受けました】

公益財団法人 水道技術研究センターが発行している「水道技術ジャーナル」（年4回発行）に掲載されているコーナー「わがまちの水道」で当企業団が紹介されることとなり、10月16日(水)に取材を受けました。

「わがまちの水道」では、センター会員の水道事業者を対象に、まちの魅力、水道事業の概要、水道施設の紹介などが行われています。



まみずピア取材時の様子

当日は、企業団本庁舎において当企業団の概要を計画調整課長が説明、その後、海水淡水化センター（まみずピア）に移動し、海水淡水化センター所長が施設を案内しました。

また、コーナーの中には「職員奮闘記」という若手職員に対する囲み記事があり、海水淡水化センターの職員がインタビューを受け、経歴や職務内容、水道行政への感想、今後の抱負などを熱く語りました。

その後は地域の名所となる太宰府天満宮を訪れ、その歴史や魅力についても紹介されるものと思えます。

これらの記事は令和7年1月号に掲載される予定ですので、皆さん是非、ご覧になってください。

<総務課 島崎>

●福岡地区水道企業団議会議員・監査委員合同行政視察〔10/28（月）・29（火）栃木県鹿沼市〕

企業団議会議員（平畑雅博議長ほか 12 名）及び監査委員（大森一馬・松山力弥監査委員）が合同で、他都市の水道事業の施設・事業運営の取り組み等について実地調査を実施しました。

栃木県鹿沼市の南摩<sup>なんま</sup>ダム及び関連の工事現場を訪れ（独）水資源機構<sup>おもしろいかわ</sup> 思川 開発建設所の職員から思川開発事業について説明を受け、調査を行いました。この事業は、思川の支川南摩川に南摩ダムを建設し、洪水調節を行うとともに、思川支川の黒川、大芦<sup>おおあし</sup>川と南摩ダムを導水路で結び、水を融通しつつ効率的に水資源開発を行うものです。（令和 8 年度概成予定）

今後、当企業団の事業運営に活かしてまいります。

<議会事務局 山田>



南摩ダムサイト展望台



南摩ダム堤体



大芦川取水放流工

●令和 6 年度 第 2 回水源地域未来会議【参加しました】〔11/1（金）朝倉市〕

今年度第 2 回目となる「令和 6 年度水源地域未来会議」が福岡県朝倉市で開催されました。当企業団や構成団体を含め、水源地域の振興に取り組む全国各地の地方公共団体等から約 130 名が参加されました。

雨模様の日でしたが、午前中は「あさくら 3 ダム」といわれる市内 3 つのダム、江川ダム、小石原川ダム、寺内ダムを巡り、九州一の堤高を誇る小石原川ダムや水資源機構が手がけた最初のロックフィルダムである寺内ダムでは、ダムの構造や取水設備など詳しい説明を受けました。

午後からは基調講演の後、複数のグループに分かれてのワークショップが行われ、「水源地域と流域圏の未来のために、あなたが今いる組織でできることは何か」など活発な意見交換により、参加者同士の交流も深まりました。



開催地である朝倉市長のご挨拶

<総務課 秦>



My ダムカードフォトフレーム  
(小石原川ダム)



雨の中、ダムの説明をしていただきました  
(寺内ダム)

## ■水源地域との交流事業

### 実施レポート

#### ●流域連携基金事業「筑後川のめぐみフェスティバル」〔10/19（土）・20（日）福岡市役所ふれあい広場〕

福岡都市圏は、使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っています。このため、筑後川への感謝の気持ちを表し、福岡都市圏住民と筑後川流域住民との交流を深めるため、毎年「筑後川のめぐみフェスティバル」が福岡都市圏広域行政事業組合の主催で開催されています。

今年は10月19日、20日の2日間にわたり開催され、初日の午前中は短時間の激しい雨に見舞われましたが、その後は天候にも恵まれて、多くの来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーでは、筑後川流域の観光大使やマスコットキャラクターなどが登壇するとともに、主催者代表による祝水の鏡割りが行われました。

会場には、53のブースが設置され、筑後川流域から出店したグルメ・物産品販売が大勢の人でにぎわい、ステージでは、筑後川流域の郷土芸能の「玖珠町 久留島太鼓」や「琉球祭り太鼓」の演奏、ALEX、Paulette、吉野雄太、市崎かなこさんのライブ、観光物産PR、物産品抽選会などのアトラクションがありました。

会場内では、来場者と筑後川流域のマスコットキャラクターとの交流、さらにテレビやラジオの生中継取材などもありました。

当企業団は、利き水コーナー（海水淡水化水・水道水・ミネラルウォーターの3種類の水の飲み比べ）を実施し、2日間で約1,900人の参加がありました。

来場者の皆さまには、フェスティバルを通して「水」について考え、筑後川のめぐみを感じていただける良い機会になったことと思います。

また、利き水コーナーの運営にあたり、ご協力をいただきました大野城市、久山町、福津市、糸島市の職員の皆さまには、厚くお礼申し上げます。



福岡市役所ふれあい広場の入り口

<総務課 川中>



オープニングの鏡割りの様子



企業団ブース



利き水コーナーに並ぶ来場者

## ●第37回 筑後川河川美化「ノーポイ」運動〔10/27（日）久留米市 筑後川河川敷〕

河川環境の整備・保持や河川美化意識の高揚と河川愛護思想の啓発を目的とする清掃活動が、国土交通省筑後川河川事務所の主催により、筑後川、矢部川で開催されています。

今年は、会場の一つである筑後川に、地元住民の皆さんや自治体職員のほか、福岡都市圏の水道関係職員 29 人、当企業団職員 13 人が参加し、久留米市内で多くの方が筑後川の堤防や河川敷に投棄されたゴミの回収を行いました。

当企業団では、ゴミ投棄防止の啓発と河川や海の環境保全のために、今後もこの活動に参加してまいります。  
 <総務課 川中>



開会セレモニーの様子



ゴミ回収作業



福岡市役所・企業団の参加者

## ●水をつなぐ流域交流 in 下戸河内しもとごうち【参加しました】〔11/10（日）朝倉市江川〕

江川ダムの下流にある下戸河内地区では、平成 13 年から、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催により、水源地や水源林の保全、上下流住民の交流を目的として、植樹や昼食会、もちつき、ミニ運動会、いもほりなどの交流会を開催してきました。

25 年間続いたこの事業も主催者の高齢化により継続が困難なことから、今年が最後の開催となりました。

当日は、福岡市民・独立行政法人水資源機構・朝倉市・福岡市・当企業団などから総勢 68 人の皆さんが参加され、約 20 本の苗木を植樹しました。慣れない杭打ちやネット貼りの道具に苦労しながらも、無事に植樹を終了しました。

その後、食事会で交流を深め意見交換会を開き、福岡市城南区堤校区から参加した小学生からは「初めての経験でとても楽しかったです。ありがとうございました。」とのお礼の言葉がありました。

この木々が筑後川流域の環境保全に貢献し、流域の皆さんはもとより、福岡都市圏にも清らかな水をもたらしてくれることを願っています。  
 <総務課 川中>



朝倉市長のあいさつ



植樹作業の様子



記念撮影



意見交換会の様子

## 11月、12月の予定【開催されます】

### ●第37回筑後川フェスティバル【11月～3月 久留米市内】

筑後川フェスティバルは、筑後川流域の交流と連携の促進を目指して、筑後川関連の自治体の持ち回りで毎年開催されており、今回で37回目となります。

今回、久留米市で開催されるフェスティバルでは、「流域のにぎわい・交流の輪」～源流の活動と下流の新たな活動を結ぶ～をテーマとして、流域の皆さまと地域の豊かな水や自然、水とのふれあいを通じて水循環についての理解を深めながら、課題解決に向けて連携して取り組んでいくこととされています。

会期 令和6年11月9日（土）～令和7年3月8日（土）

イベント1 11月9日（土）：大川市「シマンマルシェ」会場

◇ 啓発展示と塗り絵ワークショップ

イベント2 11月～3月：筑後川流域各地

◇ 筑後川フェスティバル流域キャラバン

イベント3 時期及び場所は検討中

◇ シンポジウム（意見交換会）

イベント4 令和7年3月8日：大分県日田市

◇ 奥日田森川緑（しんせんりよく）ツアー

主催 第37回筑後川フェスティバル実行委員会

協力 久留米市

協賛 一社）北部九州河川利用協会、福岡地区水道企業団、福岡都市圏広域行政事業組合 他

問い合わせ NPO 法人筑後川流域連携倶楽部 TEL 0942-45-5042



※詳しくは、右の二次元バーコードから特設ページをご覧ください。



### ●「日帰りサステナブルトリップ」ドボク博士とゆく、ふくおかの“水”めぐりバスツアー募集中【11/23（土）朝倉市 寺内ダム周辺】

福岡都市圏には大きな河川がなく、水道水の約1/3は筑後川の水です。筑後川から大きな恵みを受けている福岡都市圏の住民を対象に、ダムの見学やその役割、どのようにして水が運ばれてきているのか等を学び、朝倉市の皆さんとふれあう『水をめぐるバスツアー』を実施します。

ツアーの中では、朝倉市の地元中学校の生徒さんやPTAの皆さんと、ツアー参加者による交流の機会を設け、意見交換するワークショップも開催します。

ぜひ交流事業にご参加ください。

日 時 令和6年11月23日（土・祝）

9：00～17：00（予定）

開催場所 福岡県朝倉市 寺内ダム周辺

実施団体 福岡テンジン大学、福岡地区水道企業団

申込締切日 11月21日（木）24時まで福岡テンジン大学のサイトより申込



※詳しくは、右の二次元バーコードから『福岡テンジン大学』のページをご覧ください。

## ●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動〔11/26（火）朝倉市佐田〕

この運動は、河川愛護や水産資源の保護を目的に、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の主催で毎年開催されています。

当企業団は、各構成団体、福岡都市圏広域行政事業組合の職員の皆さんとともに、佐田川の寺内ダム貯水池周辺の清掃活動に参加します。参加される各構成団体の皆さん、当日の作業をよろしくお願ひします。



回収ゴミの分別作業の様子

日 時 令和6年11月26日（火）

9：00～11：30（予定）

開催場所 佐田川（寺内ダム貯水池周辺）、小石原川（江川ダム貯水池周辺）

## ■水資源機構だより

### ●筑後大堰の点検を実施しました

水資源機構では、10月17日に筑後大堰へ管内の機械担当職員が集結し、ゲートの管理運転や非常時（停電等）に使用される予備動力装置の起動点検を実施しました。機械設備の障害時に対応する応援態勢の確立と点検技術向上を目的とした直営点検OJTの取組で、ボルトの緩みも自ら確認します。

筑後大堰は、筑後川の流量に応じてゲートを上げ下げすることで水位を調節し、福岡地区水道企業団が配水している福岡都市圏を含む福岡県・佐賀県の水道用水や筑後川下流域のかんがい用水を安定的に取水できるようにしている役割を持っていて、鋼鉄製の主ゲートが5門、1門の幅が4.6m、重いものは440tもあります。

設備の点検を通じ、職員の技術向上を図ることで、洪水時における地域の災害防止や平常時にも福岡都市圏や筑後川流域の住民の皆さんに確実に「水」を届けることができるよう心がけています。



ゲートの管理運転の様子



筑後大堰の全景（下流側から）

## ■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

### ●第4回あさくら祭り〔11/16(土)・17(日) 朝倉市役所前・甘木公園〕

(朝倉市から情報提供いただきました。)

「朝倉の風を感じ 未来へ種を蒔こう」をテーマに本年度開催が決定いたしました。朝倉市の特産品の販売や、朝倉ならではの催し物など、子供から大人まで楽しめるイベントが行われます。

また、前回大好評だった「ねぎ飛ばし大会」も開催されます。

日 程 令和6年11月16日(土)・17日(日)

開催場所 朝倉市役所前・甘木公園

※前年と会場が変更となっておりますので、  
ご注意ください。

問い合わせ先 あさくら祭り実行委員会事務局

TEL 0946-52-1428 (朝倉市商工観光課)



あさくら祭りの入場ゲート



ステージイベントの様子

### ●柳坂ハゼ祭り〔11/16(土)～11/24(日) 久留米市山本町豊田 柳坂 曾根 の 櫨 並木周辺〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました。)

柳坂 曾根 のハゼは、久留米藩が寛保2年(1742年)に灯明用の蠟の原料として植樹したもので、柳坂曾根の櫨並木には「伊吉ハゼ」を含め約260本が植えられています。

老木のハゼは高さ5～6m、幹周り2m程あるものもあり、約1.2km続く並木道は、県の天然記念物に指定され、新・日本街路樹100景にも選ばれています。

また、11月16日、17日、23日、24日(10:00～16:00)のみ、並木道が歩行者天国となります。



燃えるような紅葉が美しい櫨並木

日 程 令和6年11月16日(土)～11月24日(日)

開催場所 柳坂曾根の櫨並木周辺(久留米市山本町豊田)

駐車場 くるめ緑花センター大駐車場 約100台

その他臨時駐車場 約150台

山本運動広場 100台

問い合わせ先 柳坂ハゼ祭り実行委員会 TEL090-4486-9960



## ●おしろい祭り〔12/2（月）朝倉市 大山祇神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

古くからの言い伝えでは、<sup>おおやまづみ</sup>大山祇神社は「山の神」と呼ばれ、一般的に山の神は「女の神様」を指し示しますが、その「女の神様」がお化粧をすることを「おしろいをぬる」と言われています。このおしろいは、新米を粉にして水で溶いたもので“しとぎ”と呼ばれていますが、“しとぎ”は、「餅の原型」とも言われ、古くから神前のお供えものとしてハレの日に欠かせない存在です。

朝倉市杷木大山の大山祇神社で行われる300年以上続く全国的にも珍しい「おしろい祭り」は、この“しとぎ”を顔に塗るもので、その昔、農家の人が氏子の繁栄と新穀の豊作を神に報告、感謝し、来年の五穀豊穰を祈願する行事で、全国でも類のない奇習です。

毎年12月2日に行われ、当日は午後2時頃から宮座が始まります。宮司のお祓い、祝詞が奏上された後、氏子全員が宮座の膳につき、お神酒がまわり始めると、座元と言われる人達が“しとぎ”を持ち出して宮司の顔から塗り始め、参拝者全員におしろいが塗られていきます。このおしろいの付き具合で来年の「作柄」が占われます。

このおしろいは家に帰るまで落としてはならず、帰ってから顔を洗った水を家畜に飲ませると丈夫に育つそうです。

宮座の膳を持ち帰るための「藁苞（わらづと）」が用意されており、お酒で火照った顔におしろいが塗られた顔のまま、藁苞を肩に担いで家路につく姿は素朴な風景です。



おしろい祭りの様子

日 時 令和6年12月2日（月） 14：00～

開 催 場 所 大山祇神社（朝倉市杷木大山） ※ 駐車場なし

問い合わせ先 道の駅「原鶴」インフォメーションセンター TEL：0946-62-0730

## 水 源 情 報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、  
【水源情報】が載っています  
ので、見てね！！



・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



## 編 集 後 記

筑後川の水源のひとつである寺内ダムの麓に『朝倉 三連ダムの駅』という場所があると聞き、寺内ダムに行った際に訪れてみました。

そこは、むかしは農家の母屋や納屋だった約 200 坪にわたる土地を、手作りで開拓したお店の集まったエリアでした。お食事処やカフェを含む、いろいろな施設を百年かけて完成させていくという計画だそうで、開拓中のエリアを『あさくら だ ふぁみりあ』と名付けているとのこと。

店内は古民家の調度品が飾られ、タイムスリップをしたような気分になりながら、食事が楽しめる空間となっていました。

特に、『寺内ダムの和牛カレー』・『江川ダムのカツカレー』・『小石原ダム グリーンカレー』といった、ダムの駅ならではのネーミングの料理があり、見た目も楽しめる工夫がなされていました。私は『江川ダムのカツカレー』をいただきましたが、カツもサクツとしておりカレーも風味がよく美味しくいただきました。

食事をいただきながら見える外の景色は、緑が美しく映え遠くに寺内ダムを見ることもできました。しばし時間を忘れて自然に溶け込むには、とても良い場所だと感じました。



『朝倉 三連ダムの駅』の看板

<川>



店内のレトロな調度品



店内から見える寺内ダム（右奥）



江川ダムのカツカレー

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

たくさんの情報提供をお待ちしています！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください  
福岡地区水道企業団総務課企画広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook ページ〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP,SNS

50 周年記念誌ホームページ



50 周年アーカイブス

